

## IntimateMerger


東証マザーズ（証券コード：7072）  
株式会社インティメート・マージャー

2021/11/12

# 中長期 事業戦略の説明資料

# 01 これまでの振り返り

1. これまでの振り返り
2. 中長期戦略の全体像
3. Ad Tech領域：ポストCookie
4. X Tech領域
5. プライバシーの対応



Mission

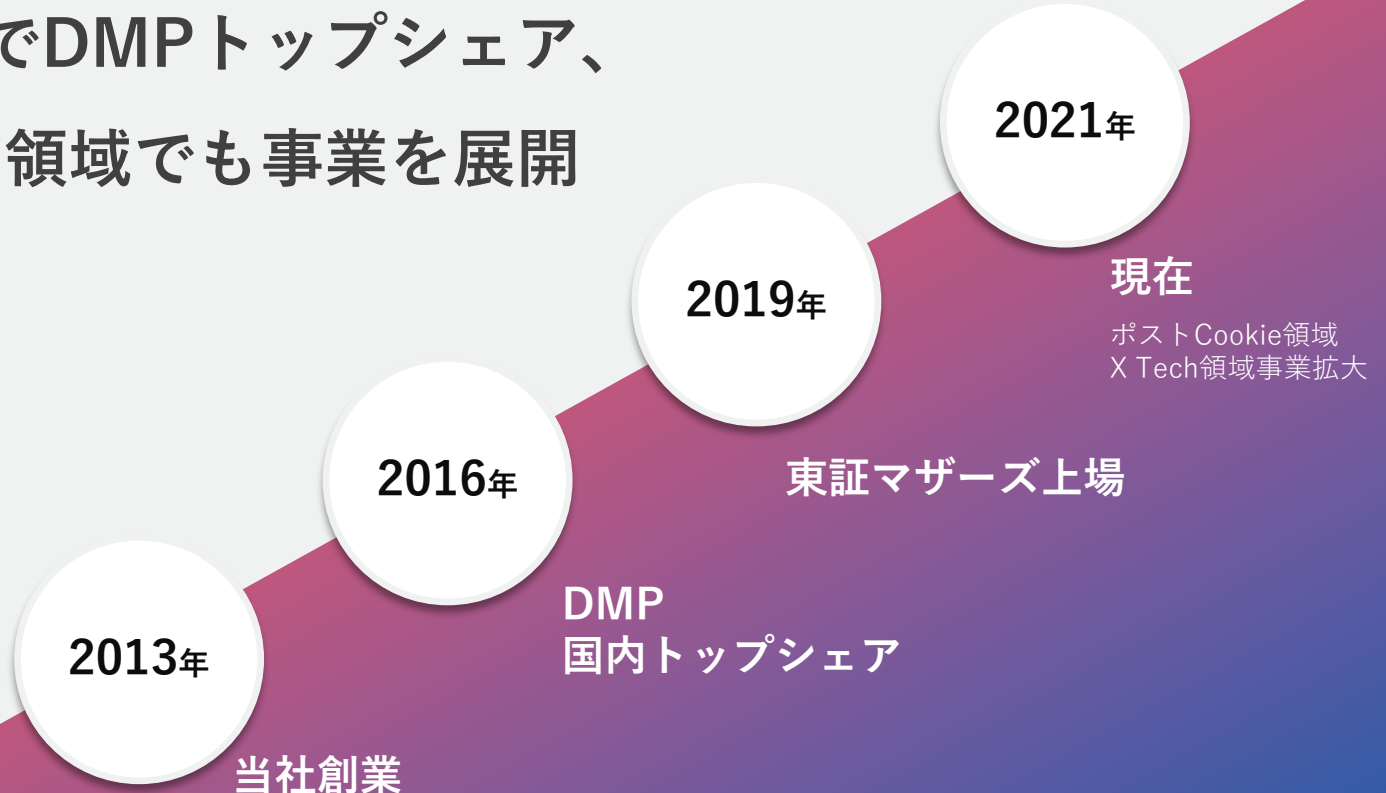
# データ活用における革命を起こす

データによる"意思決定"はシンプルで、とても効率のよいものだと考えています。  
この仕組みを確立して世の中に広めたいという思いから創業しました。



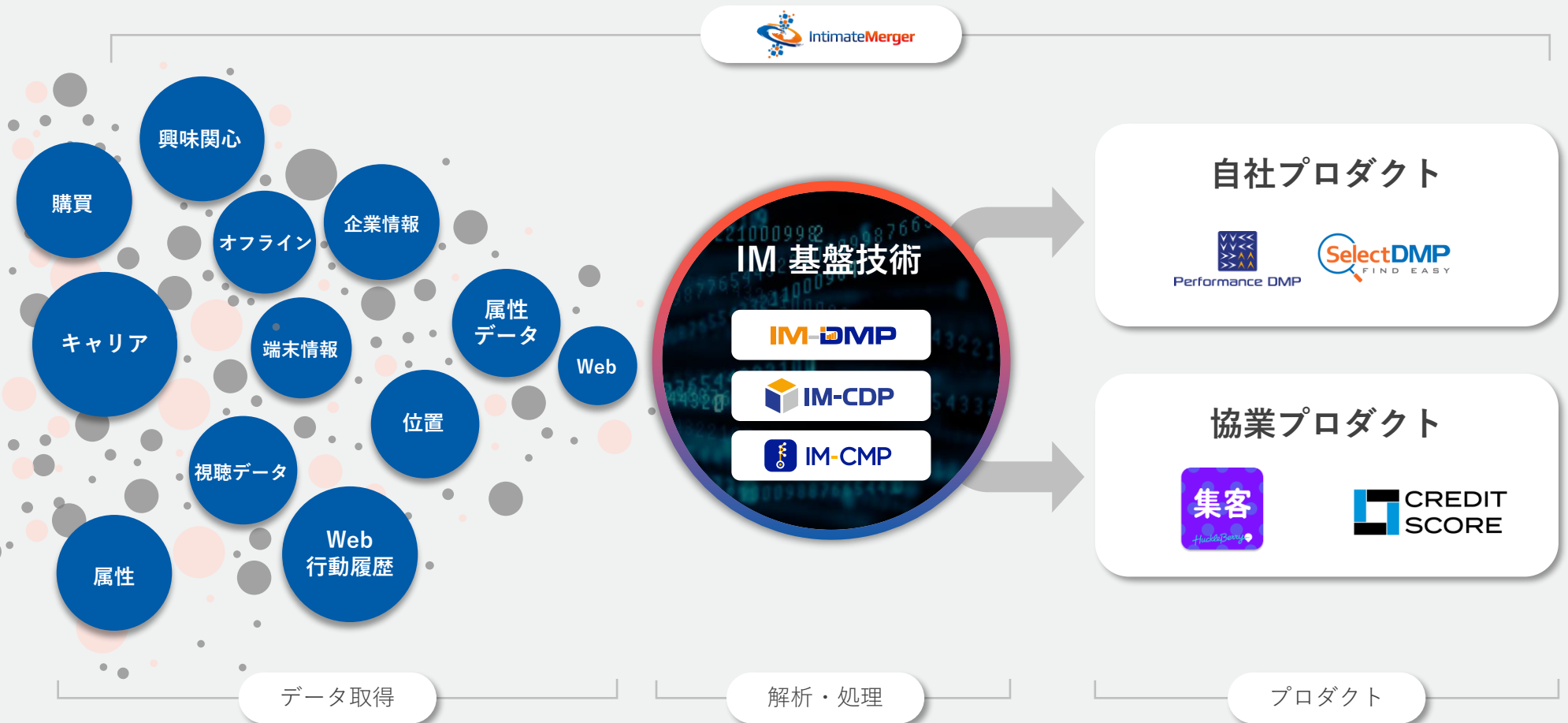
創業から約3年でアドテク領域におけるDMPのトップシェアを達成し、2019年に東証マザーズに上場。その後、アドテク領域で培った基盤技術を活用し、X Tech領域のDXを推進。

## 創業から約3年でDMPトップシェア、 アドテク以外の領域でも事業を展開



創業以来構築してきた当社基盤技術である「IM-DMP・CDP・CMP」を基軸に膨大なデータを収集しリアルタイムで解析が可能になり、様々な領域のクライアントに対してサービスを開発。

## 基盤技術である「IM DMP/CDP/CMP」を基軸としたデータを基に事業を展開



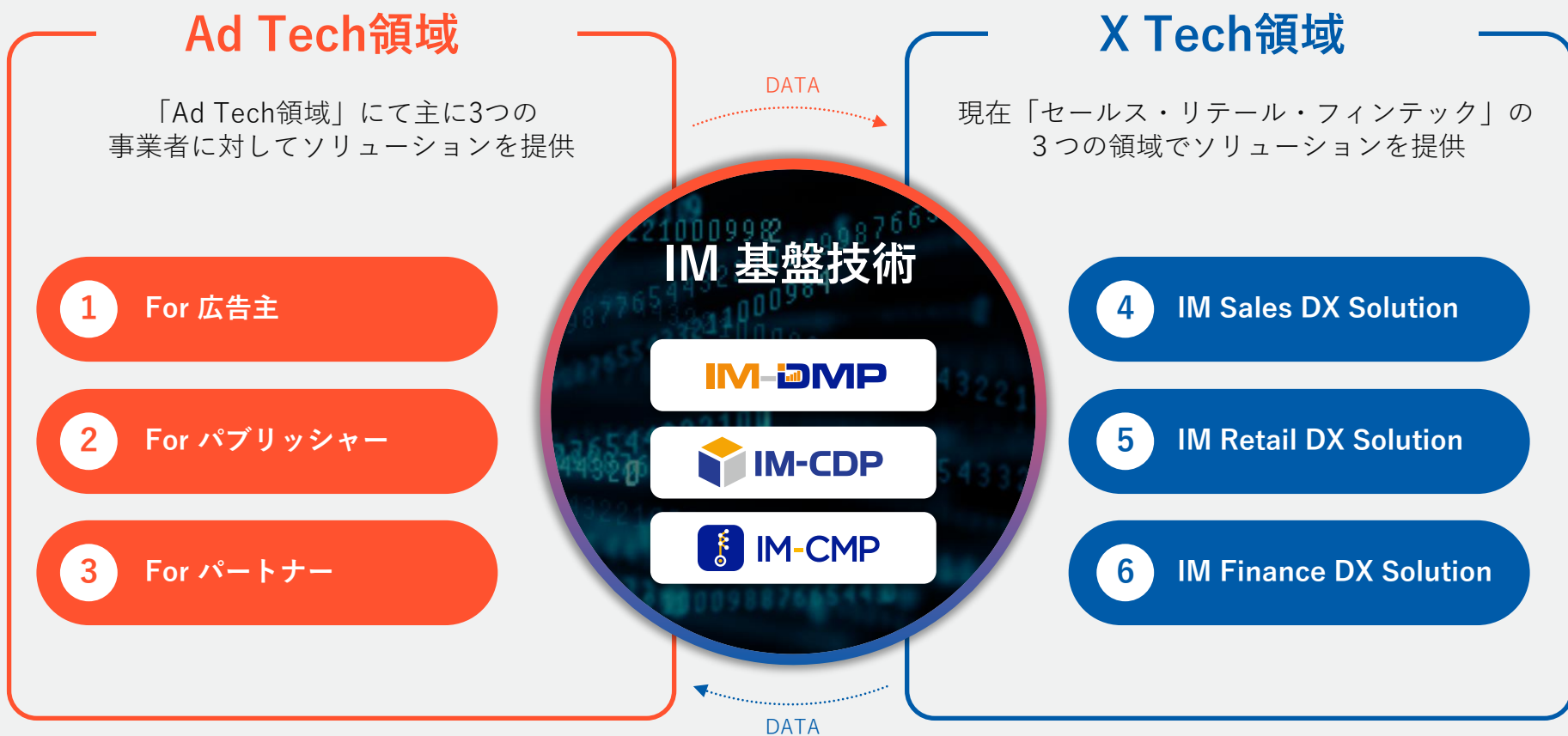
広告主～パートナーまで、あらゆるレイヤーとのネットワークを構築



IM-DMPをはじめとするデータ基盤を基軸に、

①Ad Tech領域、②X Tech領域の2つの領域に置いてサービスを開発し、業界のDXを推進している。

## データ基盤技術を活用し「Ad Tech」と「X Tech」の領域で事業を展開



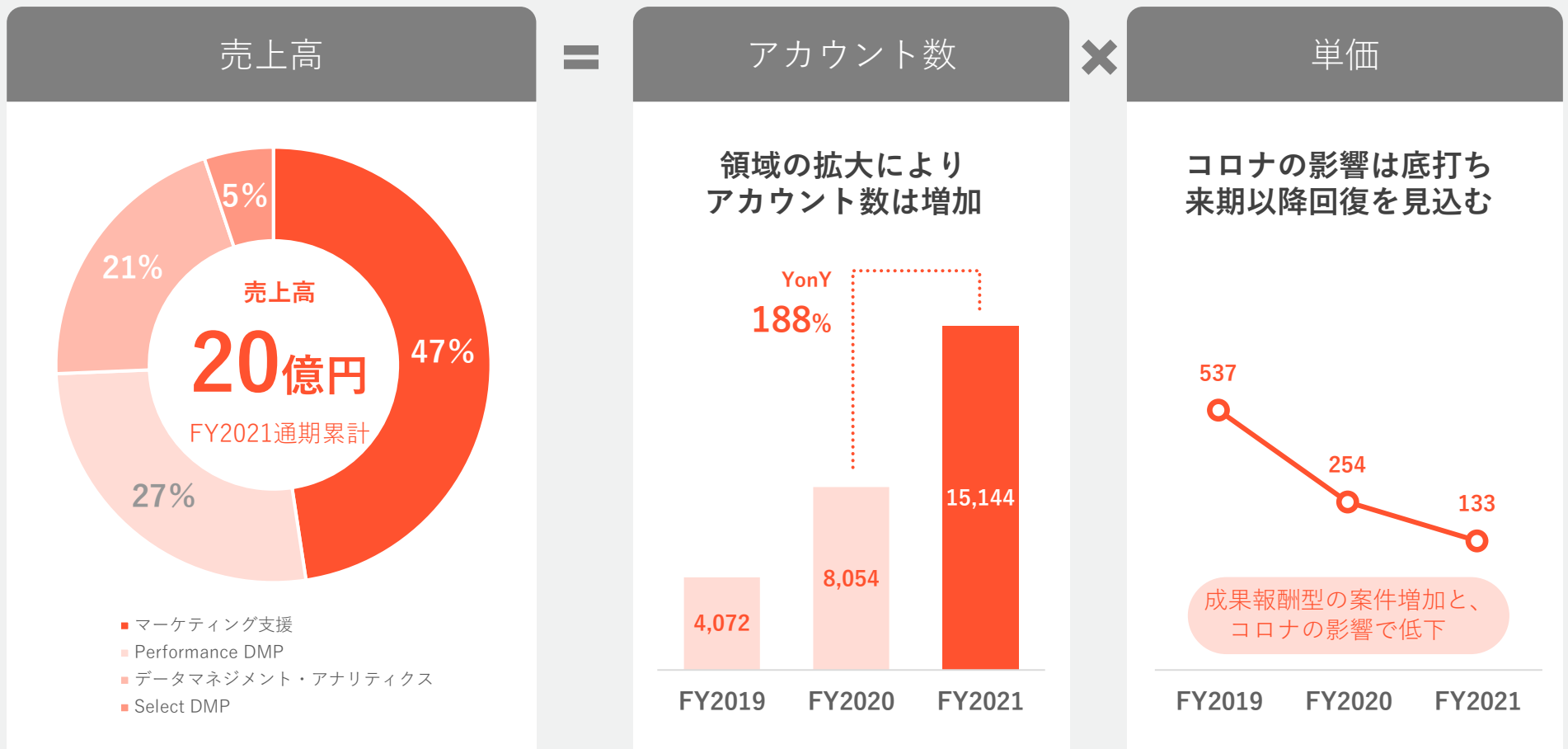
## 主に4つのマネタイズポイントを起点にビジネスを展開





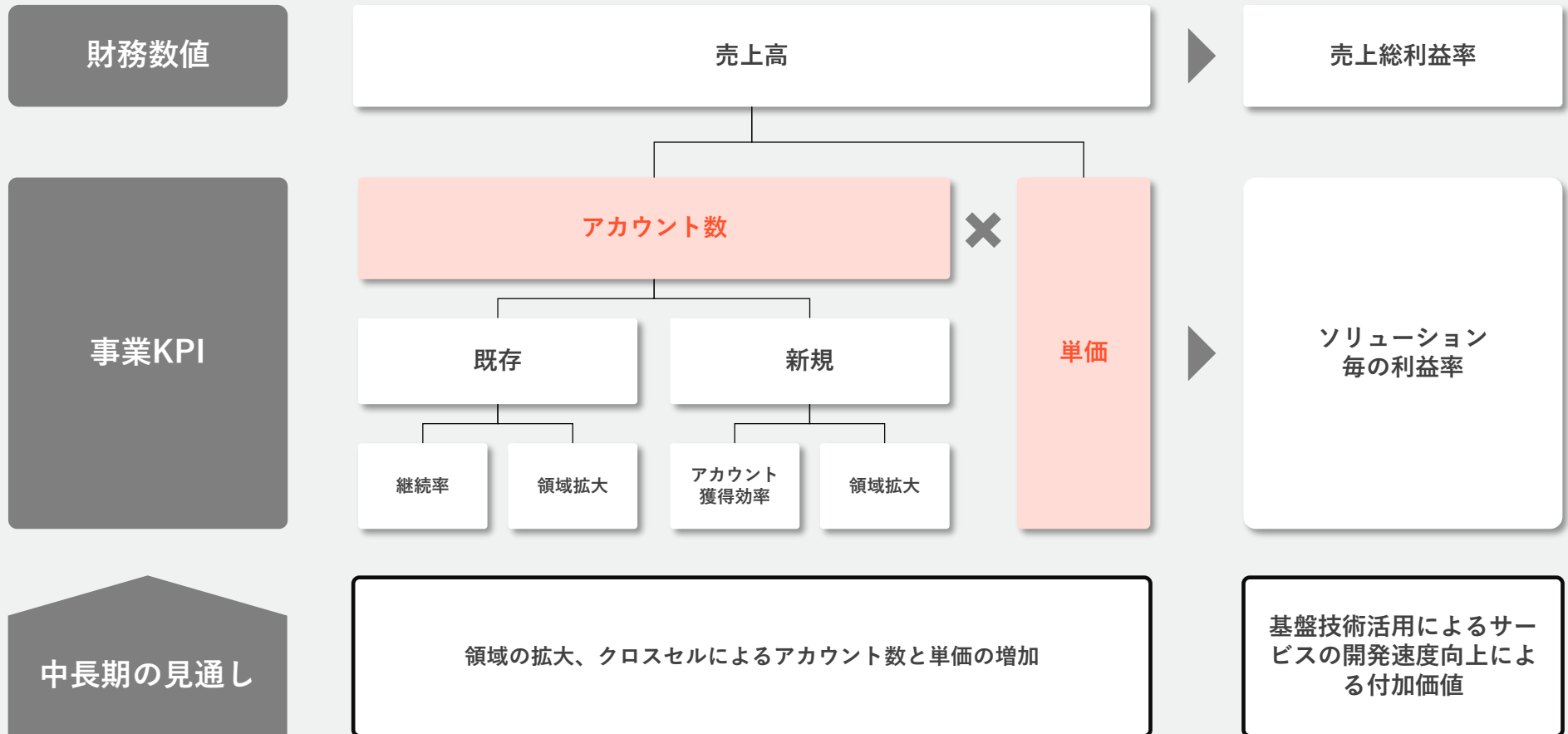
コロナ禍において「アカウント数」はニーズを捉えながら領域の拡大を実施したことにより大幅に増加。  
一方で、FY2021通期では広告単価は減少しており、コロナ禍における先行きの不透明による広告費用の削減が主な要因。

## 領域の拡大によるアカウント数の獲得は順調に推移、中長期的に売上に寄与を見込む



サービス提供領域を拡大することで、引き続きアカウント数の増加を目指すとともに、今後は、領域を横断したデータ活用を進めることでサービスの高付加価値化を行い、単価上昇とソリューション毎の利益率向上にも注力していく。

## 中長期で企業価値を最大化するために主要KPIの拡大を図る



創業当初より培ってきた「データ・開発力・汎用性」を基軸に他のプレイヤーへの参入障壁を確立。  
更に、この強みによって他プレイヤーとの協業が促進され、新プロダクトの創出にも寄与している。

## これまで培ってきた3つの強みを基軸に参入障壁を確立



# 022 中長期戦略の全体像

1. これまでの振り返り
2. **中長期戦略の全体像** 

---
3. Ad Tech領域：ポストCookie
4. X Tech領域
5. プライバシーの対応

これまでの技術基盤を活用し中長期的に成長が見込める「ポストCookie・X Tech領域」の拡大に注力。

## 中期では「ポストCookie・X Tech領域」にリソースを投下しさらなる成長を図る



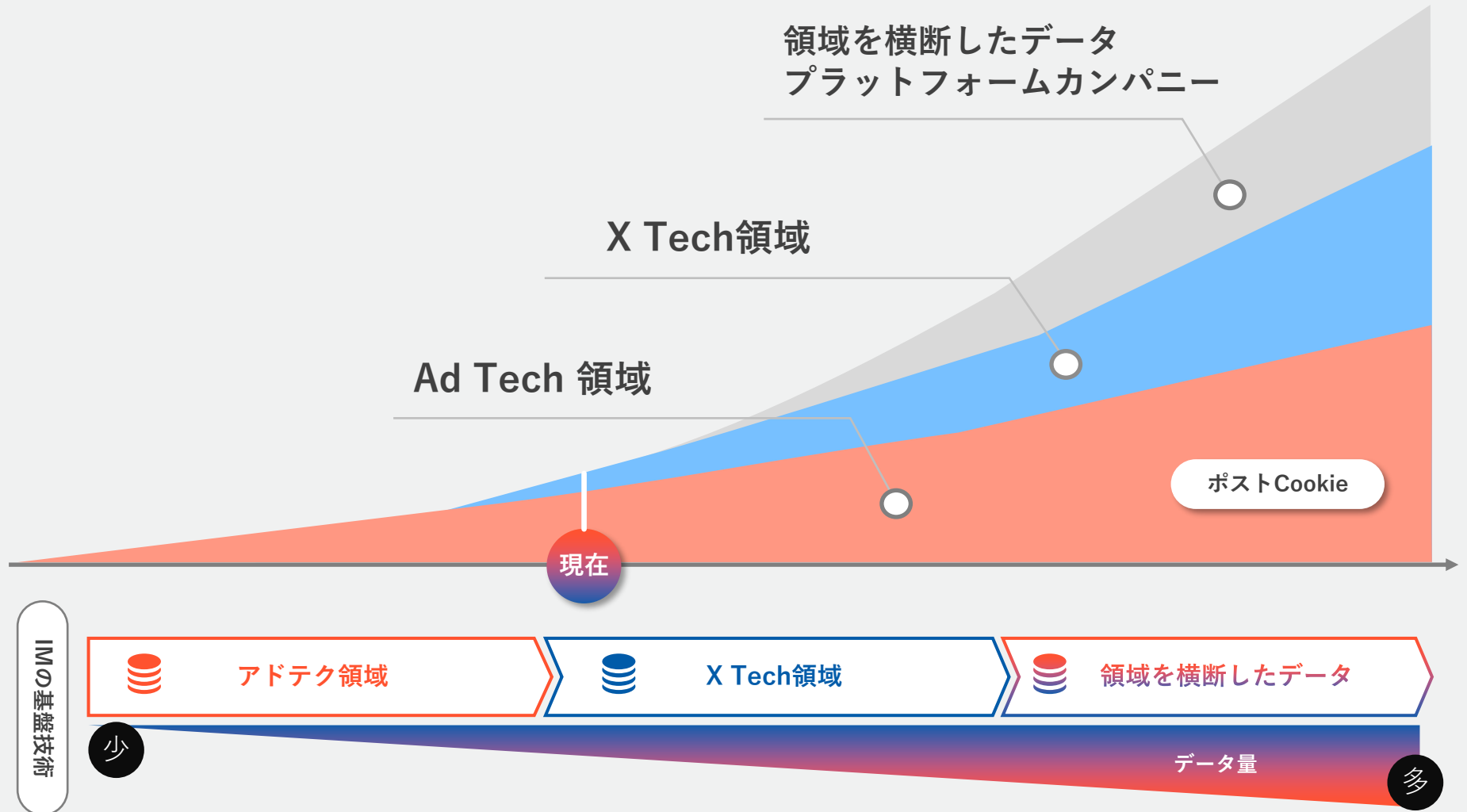


IMの基盤技術をベースに成長性の高い二つの領域で事業拡大

	戦略の詳細	市場の成長性	特徴	基盤技術
<p><b>Ad Tech 領域</b></p> <p>ポストCookie</p>	<p><b>領域TOP</b></p> <p>国内のポストCookieソリューションのNo.1の地位確立を目指す</p>	高	<p><b>先行優位</b></p> <p>(開発完了)</p>	<p><b>IM基盤技術</b></p> <p>開発コスト/リソースを圧倒的に削減</p>
<p><b>X Tech領域</b></p>	<p><b>協業戦略</b></p> <p>データ・開発力を基軸に、パートナー企業とソリューションを開発し、事業を拡大</p>	高	<p><b>データ基盤</b></p> <p>(協業戦略)</p>	

# 中長期成長のイメージ

これまで培ってきた「Ad Tech領域」のデータを活用し、中期的で「X Tech領域」での事業拡大を図り、長期では領域を横断した「データプラットフォームカンパニー」として成長を図る。



# 03 Ad Tech領域： ポストCookie

1. これまでの振り返り
2. 中長期戦略の全体像
3. **Ad Tech領域：ポストCookie**
4. X Tech領域
5. プライバシーの対応

現在4つの「ポストCookie」ソリューションを用意し、それぞれの企業ニーズに合わせた支援体制を構築。

## ポストCookie時代に必要なソリューションを開発



ID単位

IM-UID

Cookieを代替する共通IDを  
独自に開発、  
パートナーへ展開

群単位

リアルタイム  
データ連携

IMの持つ高度なオーディエンス推定  
技術を使ったCookieを使用しない  
リアルタイムユーザー解析

群単位

コンテキストマッチ  
(開発中)

既存のIM-DMPの機能を  
ベースに開発中。

## 市場性

ポストCookie領域において**国内でNo.1を達成するポテンシャル**

## 独自性

既存の「基盤技術・提携パートナー」を有す事による  
**圧倒的な速度での事業展開**

## マイルストーン

- ・先行してサービスの開発検証を実施 (**導入社数：58社**)
- ・連携メディアの拡大 (**提携サイト数：77万ドメイン**)

## 中期戦略

既存クライアントに対する**クロスセル販売**



世界中で「3rd Party Cookie」に対する規制が始まっており、時代は「ポストCookie」時代へ。  
新たなツールの開発が業界内で必須となる。

## 世界各国で「Cookie」を規制する動きがあり、各企業で変革が迫られている

○ 2018年5月 →



### 欧州でGDPRが施行

(GDPR = EU一般データ保護規則)

○ 2020年1月 →



### Google社が段階的に 廃止を発表

Webブラウザ「Google Chrome」の  
3rd Party Cookie サポート

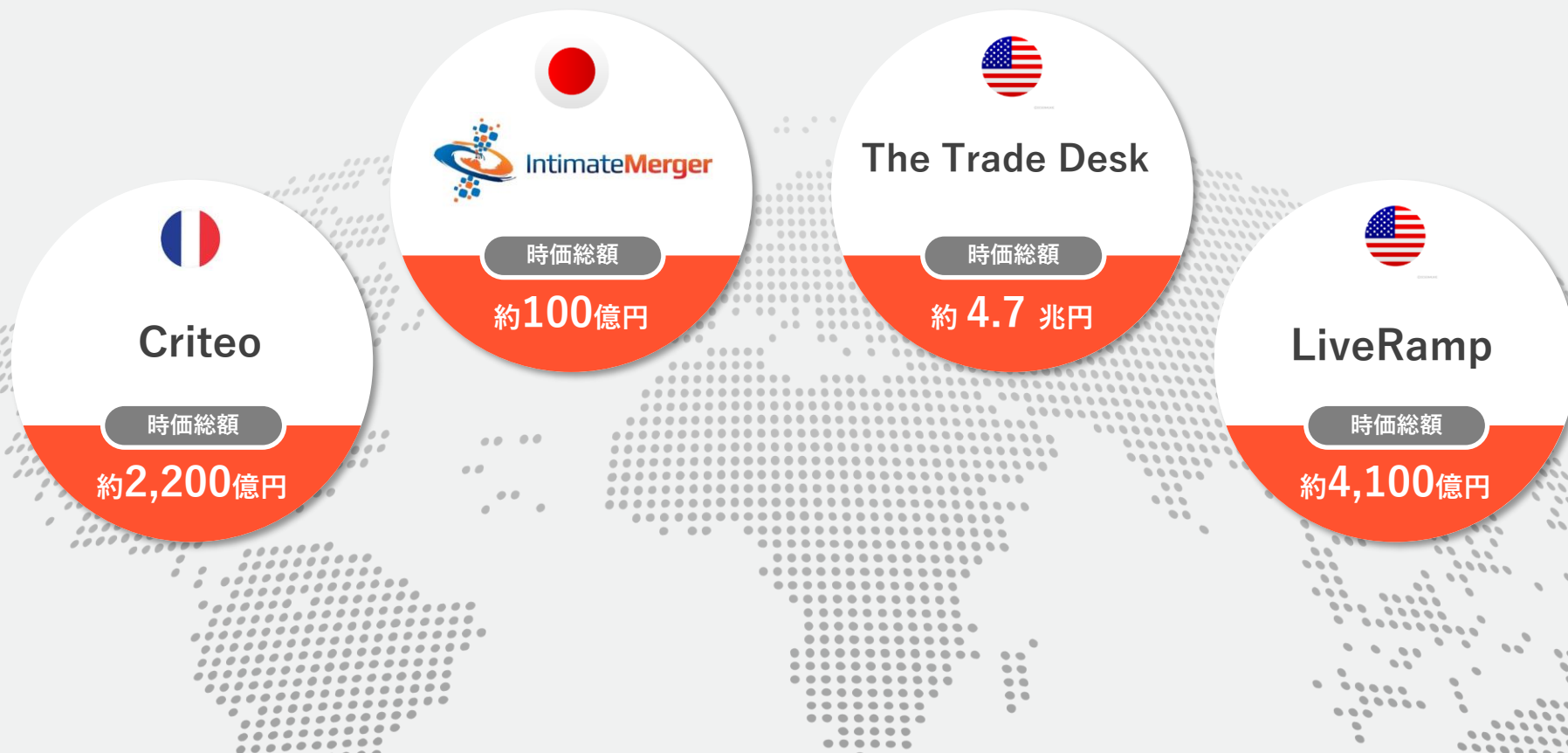
○ 2020年6月 →



### 改正個人情報保護法 が成立

プライバシーに関する規制が厳格化されている現在において、  
各国で既にポストCookieによる市場が確立され、一般的なものとなっている。








各国の企業がこの領域で事業の展開を開始し、海外では市場が急成長中



※時価総額は、2021年10月末時点の株価、及び、TTMレートを参考に算出しております。

既に海外で普及しているポストCookieサービスと同等のソリューションを開発済み。当社の基盤技術は、ポストCookieソリューションを提供する主要な海外事業者との連携も既に図れており、国内事業展開における優位性を有する。

## ポストCookieサービスを展開する海外事業者と比較し、国内で圧倒的なプレゼンスを確立

	LiveRamp	The Trade Desk	Criteo	IntimateMerger
本社	 アメリカ	 アメリカ	 フランス	 日本
提供サービス (ポストCookie)	<p>ID単位</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共通ID</li> </ul>	<p>ID単位</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共通ID</li> </ul>	<p>群単位</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機械学習 <ul style="list-style-type: none"> <li>- クラスタ利用</li> <li>- コンテキストマッチ</li> </ul> </li> </ul>	<p>ID単位 群単位</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共通ID</li> <li>・ 機械学習 <ul style="list-style-type: none"> <li>- クラスタ利用</li> <li>- コンテキストマッチ</li> </ul> </li> </ul>
当社との連携	 連携済み	 連携済み	 連携済み	-

共通IDソリューション「IM-UID」を利用したポストCookie Ad Network は、5月にプレローンチ。以降、既存の提携大手メディアやパートナーとの連携が進み、提携サイト数は急速に増加中。

既存の基盤技術とネットワークを利用することで、各レイヤーとスピーディーな連携を実施



「3rd Party Cookie」を取り巻く大きな変化を捉えるため開発にリソースを投下、各ソリューション開発は順調に進捗。FY2021 Q3に開発完了、パートナーとの連携を進め、Q4にはサービスの提供を開始。

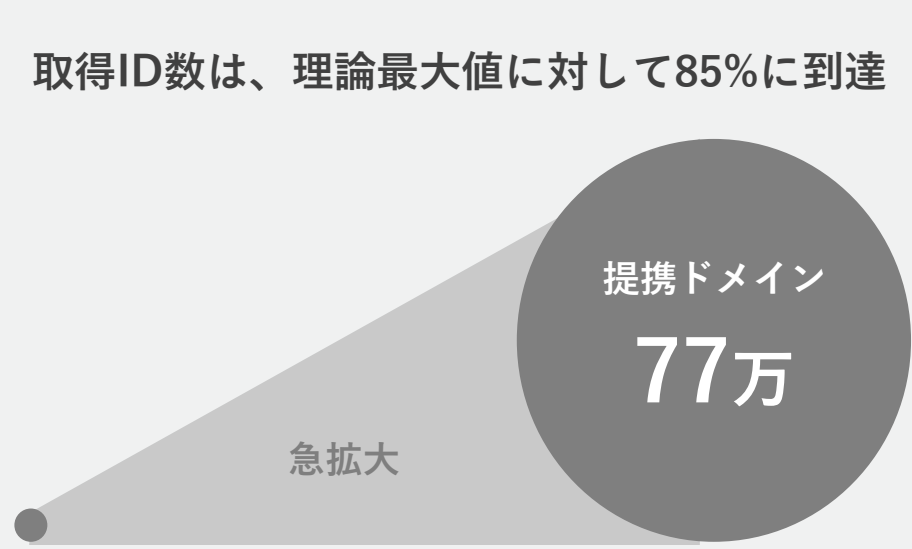
開発は当初より半年分前倒しになり、FY2022より本格的な拡販フェーズへ

FY2021				FY2022	FY2023
Q1	Q2	Q3	Q4	通期	通期

現在の進捗



提携サイト数

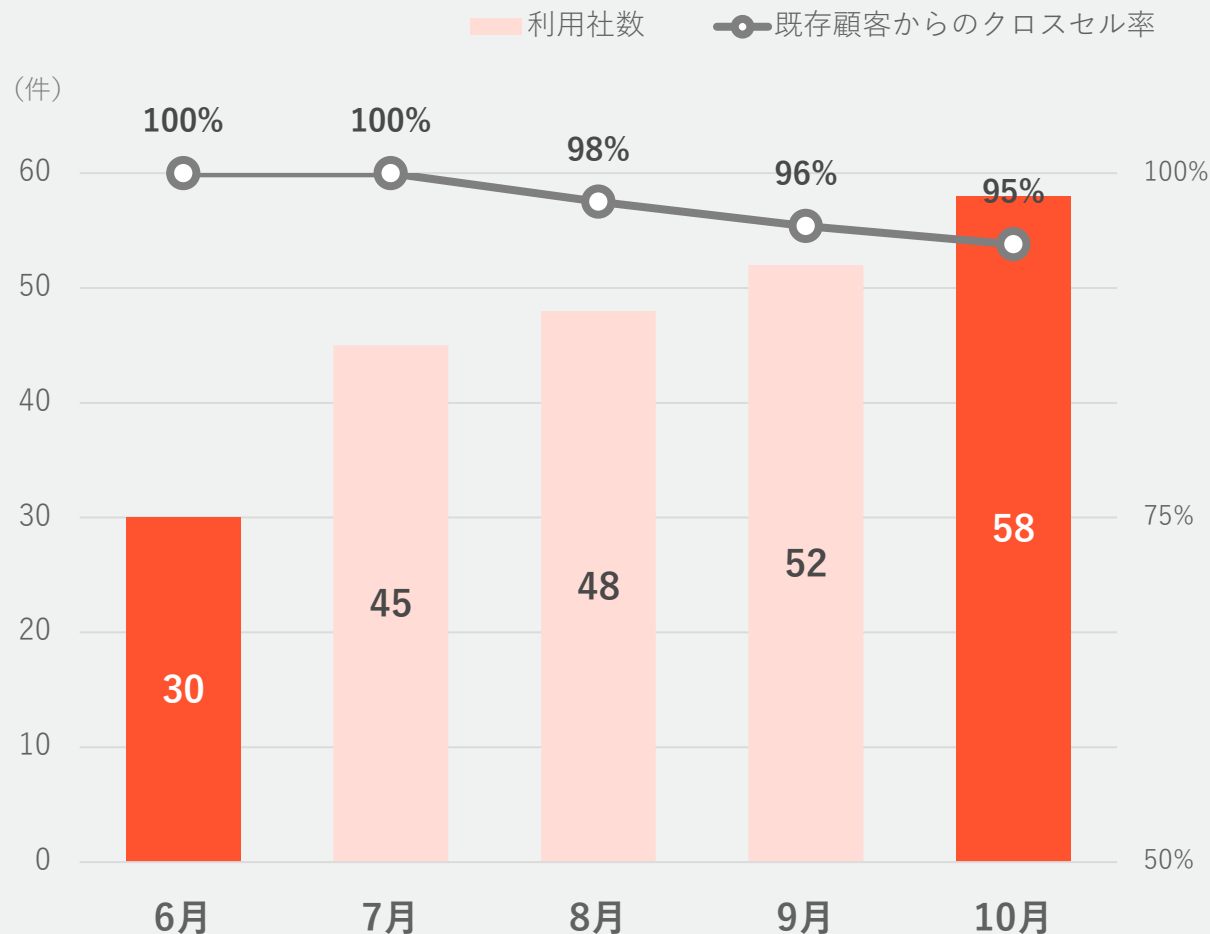


ソリューションの  
拡販フェーズ



5月のプレローンチ後、「ポストCookieソリューション」の利用社数は順調に増加。大半がPerformance DMPを利用する既存顧客への販売であり、効率的な案件獲得・サービス導入を実施。

ポストCookieソリューションの利用社数



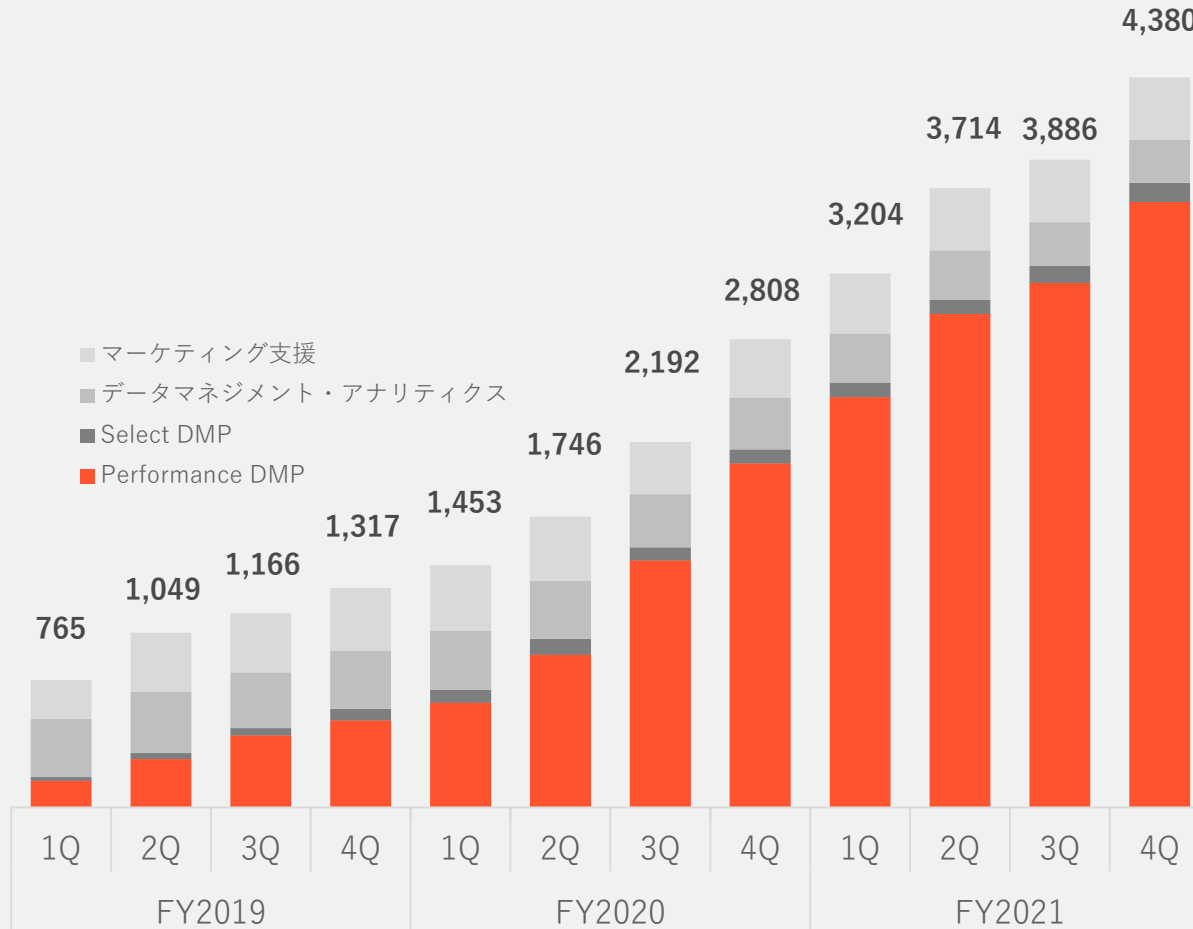
アカウント数

配信アカウント数は順調に推移

販売経路

約95%が既存クライアントからのクロスセルでの販売

成果報酬型の「Performance DMP」を中心に、近年、当社サービス導入先の増加に注力。今後は大きく増加した既存クライアントに対して、付加価値の高い「ポストCookieソリューション」の導入を進める。



これまで

ここ数年Performance DMPをベースにアカウント数の大幅な増加に成功

これから

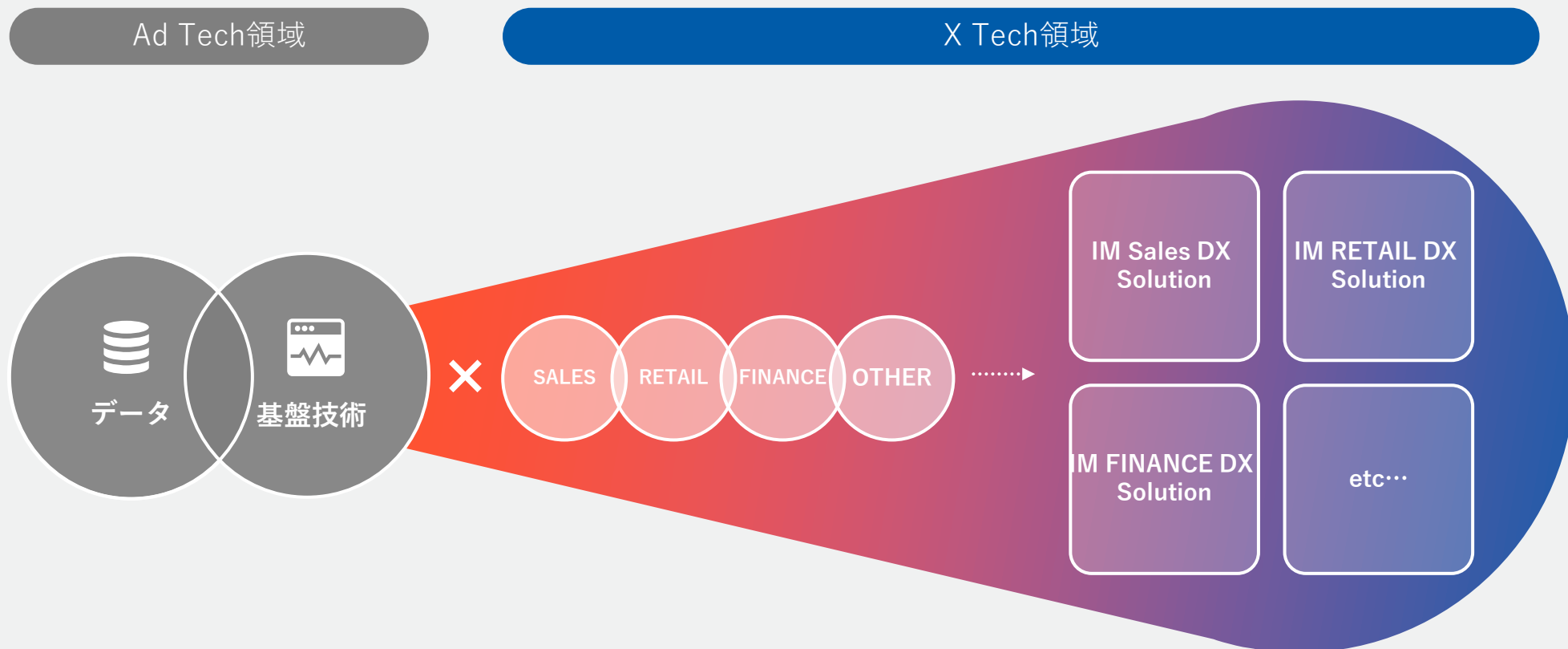
既存クライアントをベースにポストCookieソリューションの販売に注力し単価向上を図る

# 04 X Tech領域

1. これまでの振り返り
2. 中長期戦略の全体像
3. Ad Tech領域：ポストCookie
4. **X Tech領域** 

---
5. プライバシーの対応

Ad Tech領域で培った「データ・基盤技術」をX Tech(アドテク以外の領域)へ展開。  
当社だけが保有するデータを活用することで、独自の付加価値提供が可能となるため、他の事業者との協業により事業拡大を目指す。



X Tech領域でのDXを推進

- 1 「X Tech領域」にてデータ活用技術の横展開
- 2 領域を横断したデータ活用の提案

## IM Sales DX Solution (1/3)

アドテク領域で培った  
データ・基盤技術を  
セールス領域において活用し  
領域のDXを加速させる



主要プロダクト

自社開発



インテントデータを活用し、自社企業名や製品、サービス、企業情報の把握、またその情報を基にしたABMの実現が可能なサービス



## IM Retail DX Solution (2/3)

アドテク領域で培った  
データ・基盤技術を  
リテール領域において活用し  
領域のDXを加速させる



主要プロダクト



D2Cブランドの定番のeコマースプラットフォームの「shopify (カナダ)」のapp Store内で利用できるアプリ「アフィリエイト連携 (完全成果報酬型アフィリエイト)」をハックルベリー社と共同開発。

共同開発

ACCESS  
日本アクセス

小売店の購買データ (POSデータ) をマーケティングに活用するためのプラットフォームを、日本アクセス社と共同で開発。

## IM Finance DX Solution (3/3)

アドテク領域で培った  
データ・基盤技術を  
ファイナンス領域において活用し  
領域のDXを加速させる



主要プロダクト

共同開発



IMのオーディエンスデータの高度な分析技術と新生銀行グループが有する金融データを掛け合わせた信用スコアリングサービスの提供を主な目的として、両社の合併会社として設立されました。

FINANCE



## 市場性

コロナの追い風を受けて**各領域でDXの流れが加速**

## 独自性

- ・ **協業モデル**による開発速度の加速
- ・ 当社だけが有すデータの**活用による協業**

緩やかな協業戦略

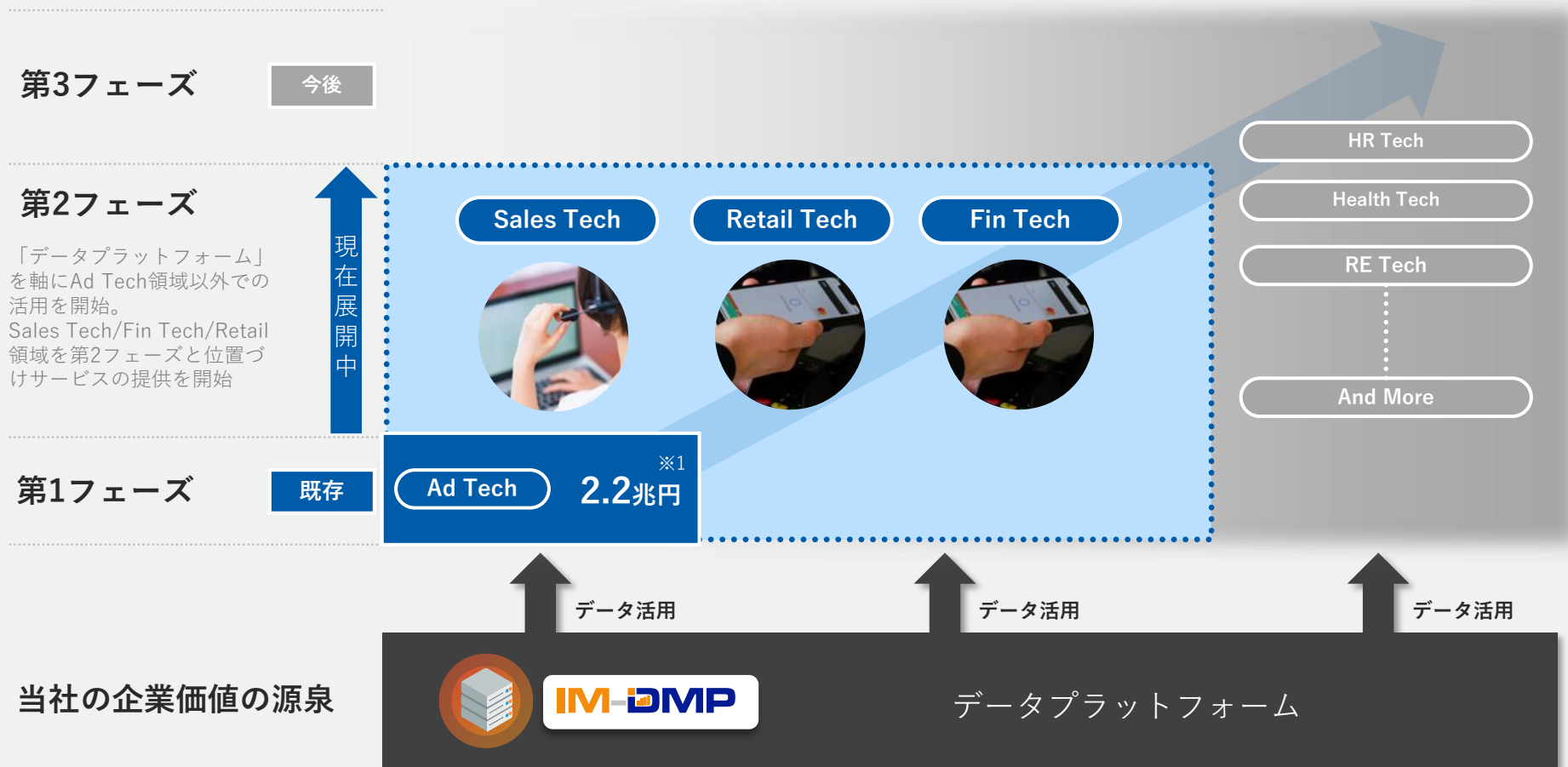
## マイルストーン

コマーステックの領域で  
ハックルベリー（Shopify）と**協業し流通総額21億円を突破**

## 中期戦略

プライバシーに配慮した**当社独自のデータ活用で企業のDXを伴走**

## X Tech領域に事業領域を拡大し、非連続的な成長を目指す

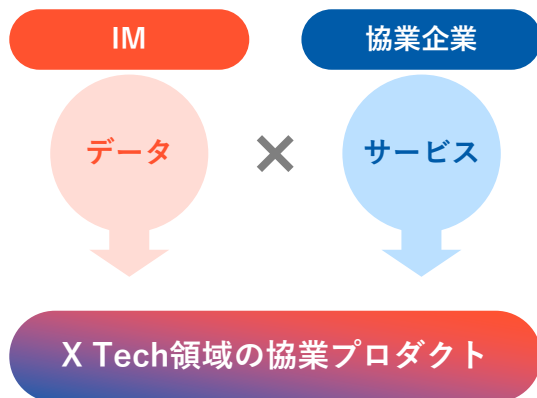


※1 (株)電通「日本の広告費2020」日本の媒体別広告費 インターネット広告費：広告制作費を含む

X Tech領域に事業領域を拡大し、非連続的な成長を目指す

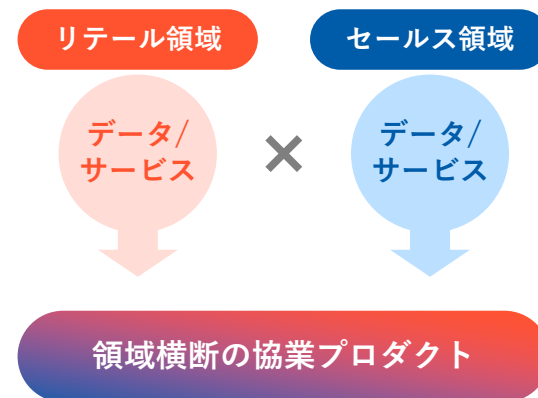
協業

他社との協業による  
プロダクト開発

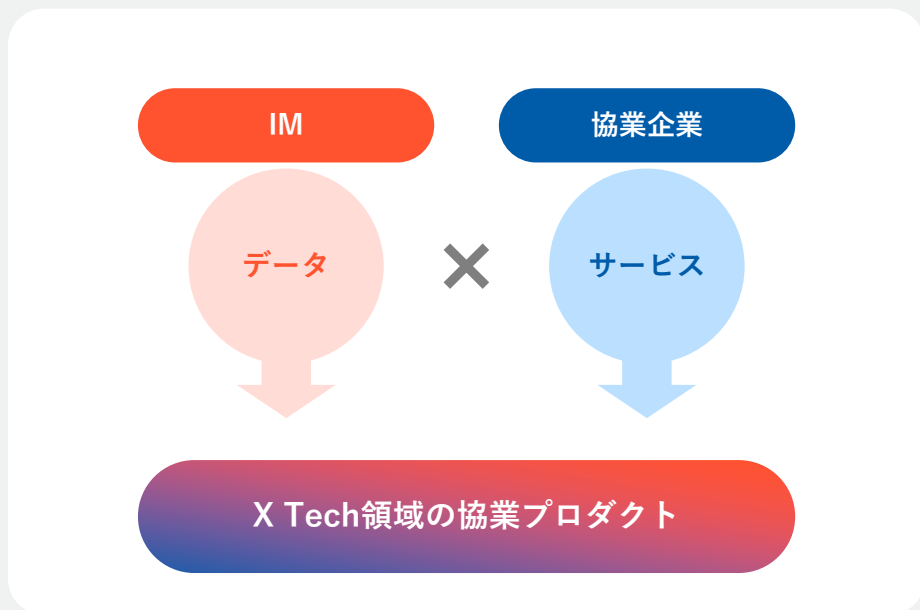


領域横断

領域を横断した  
データ活用・プロダクト開発



## 他社との協業によるプロダクト開発



1

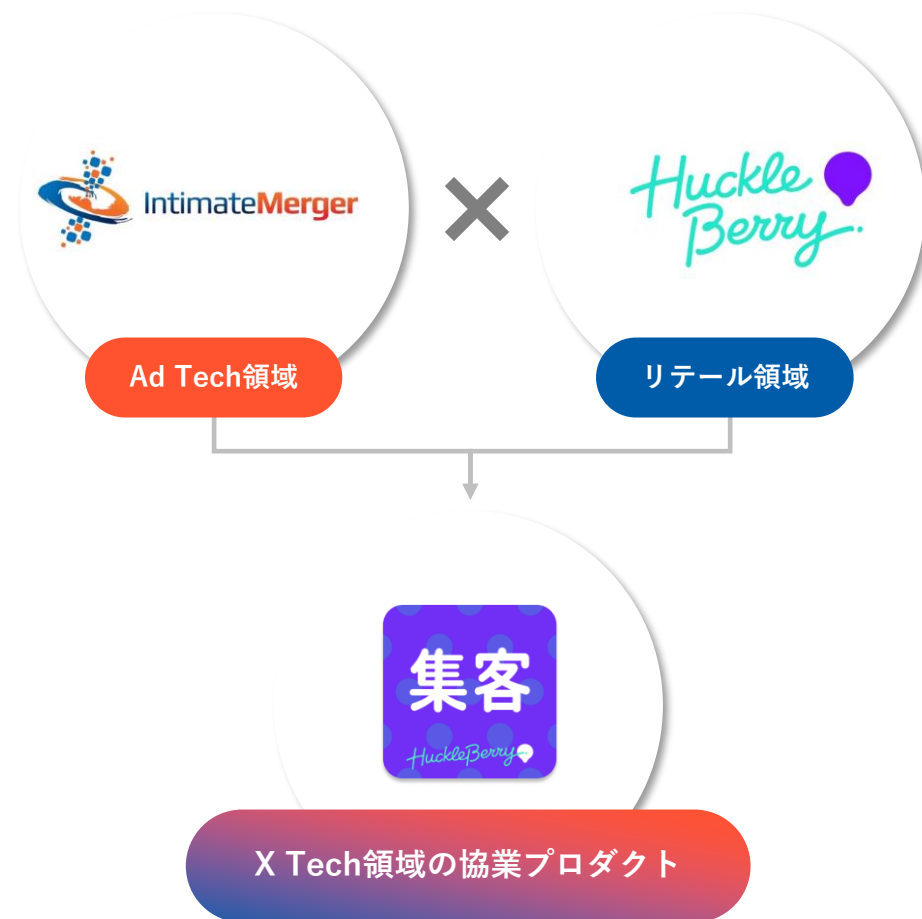
その領域のパートナーと協業することで開発速度の加速

2

Ad Techのデータを掛け合わせることで独自性を生み出す

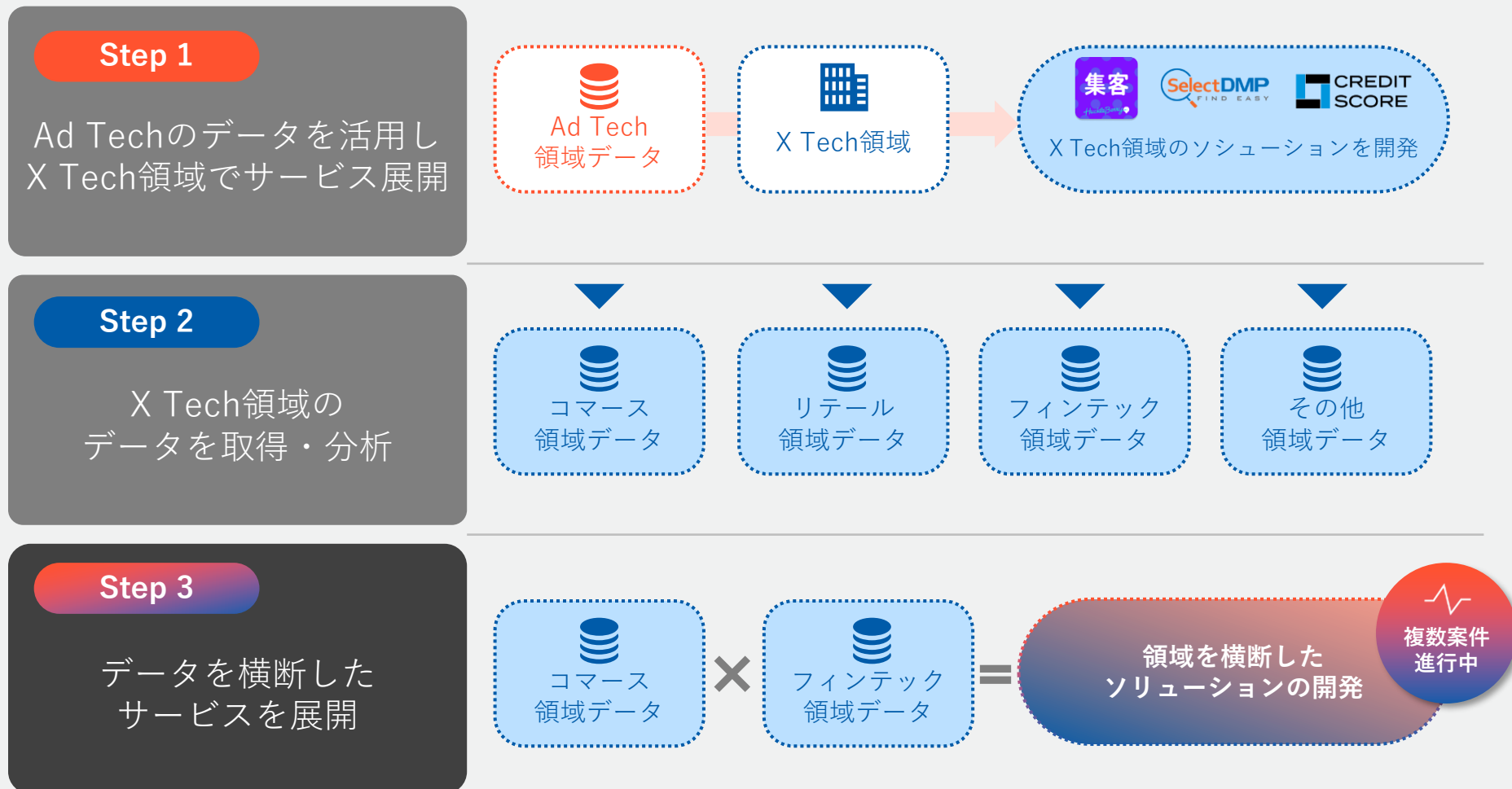
## リテール領域の協業の具体例

ハックルベリー社と協業でShopify専用アプリ「アフィリエイト連携」を開発。利用社数は150件を突破



素早く各領域のデータを習得するために、X Tech領域の事業者と協業し、  
そこで集めたデータを掛け合わせるにより「領域を横断したソリューション」の開発を進め事業拡大を目指す。

## 領域を横断したソリューションを開発し付加価値の高いソリューションを生み出す

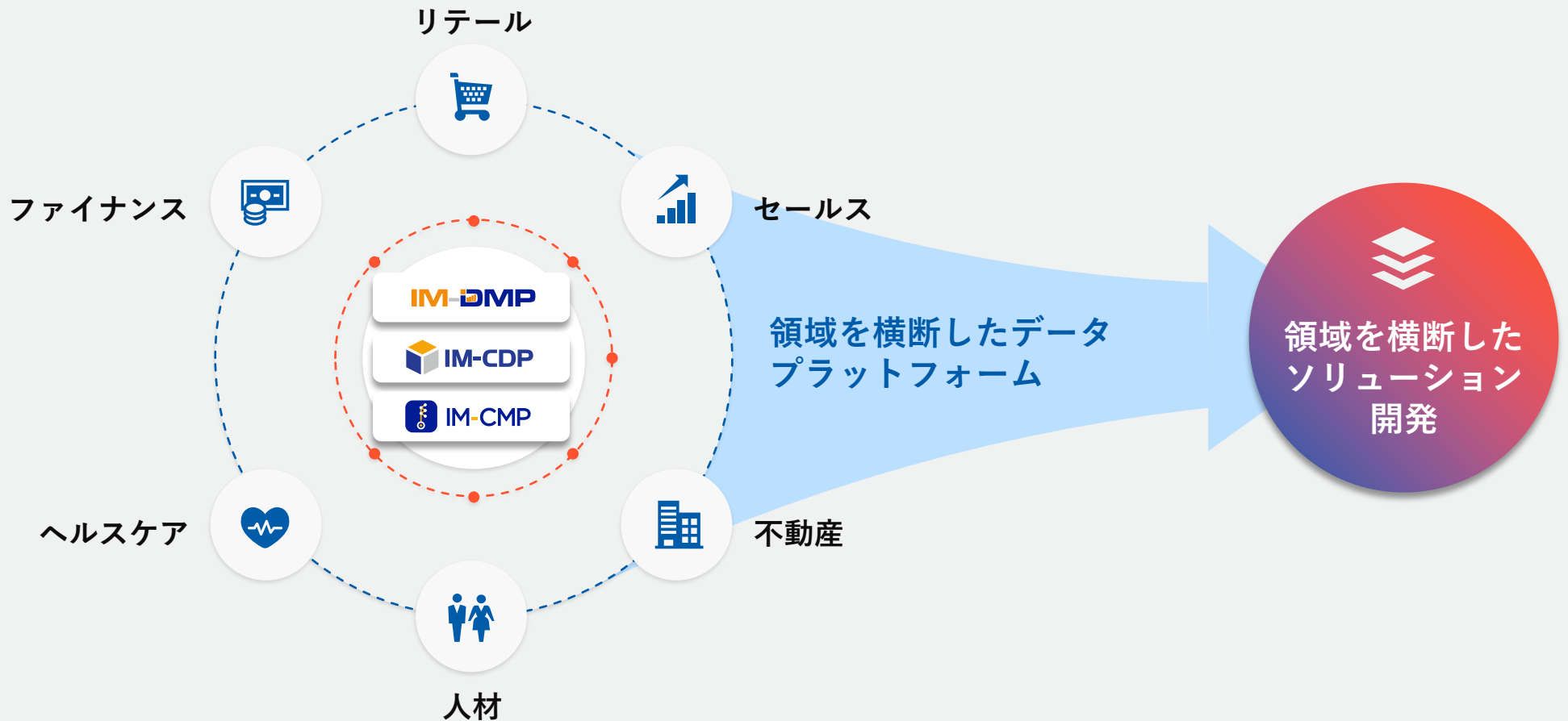




各領域において主要なパートナーとともにソリューションを開発、主要KPIも成長中

	セールス領域	コマース領域	ファイナンス領域
総括	 堅実に進捗	 主要KPIが成長	 今期注力領域
主な提携パートナー	自社開発	  その他大手小売事業者	 新生銀行
実績	<b>当社の売上高に貢献</b> FY2021の売上高は1.4億円に	<b>20億円突破</b> 「Shopify」上の流通総額	<b>商品提供の開始</b> クレジットスコアのデータを利用した商品の提供を開始
取得・活用しているデータ	企業ID    法人番号 Ad Techデータ	POS Ad Techデータ	金融スコア Ad Techデータ

中長期で領域を横断したデータプラットフォームカンパニーに



# 05

## プライバシーに関する取り組み

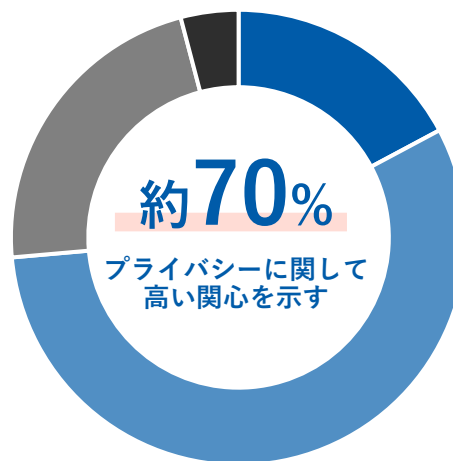
1. これまでの振り返り
2. 中長期戦略の全体像
3. Ad Tech領域：ポストCookie
4. X Tech領域
5. **プライバシーに関する取り組み** —

# 消費者のプライバシーに対する関心は非常に高まりつつある



プライバシー保護に関してどの程度関心をお持ちですか？

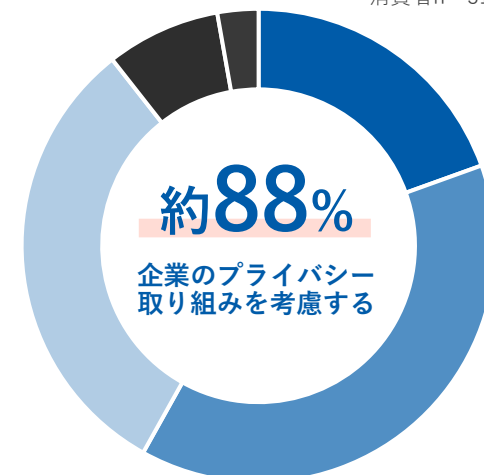
消費者n=314



- 非常に興味がある
- やや興味がある
- あまり興味がない
- 全く興味がない

提供企業の「プライバシー取り組み」を、あなたはどの程度配慮しますか？

消費者n=314



- 非常に考慮する
- 考慮する
- やや考慮する
- あまり考慮しない
- 考慮しない

# 世界中で広がる プライバシーを重視した 企業活動

ビジネスにおける持続可能性は世界的なムーブメントに。  
同様にプライバシーをより重視した企業活動に注目が集まる。

## 関連記事

APPLE

Appleは何故、ここまで声高に  
「プライバシー」保護を叫ぶのか？

URL

Amazon

アマゾン、Alexaの新機能で  
プライバシー重視を強調

URL

GOOGLE

よりプライバシーに配慮した  
ウェブの実現にむけて

URL

Meta(元Facebook)

フェイスブックは個人情報保護の強化  
を約束したが、どこまで信じられるの  
か？ いま浮き彫りになる課題

URL



## 当社ミッションとプライバシー課題への取り組み

世界中の人々が安心してインターネットを使える世の中を目指し、コーポレートミッションのもと様々なCSR活動を実施。

### Mission

## データ活用における革命を起こす

データによる"意思決定"はシンプルで、とても効率のよいものだと考えています。この仕組みを確立して世の中に広めたいという想いから創業しました。

社会課題

### • データプライバシーに関する不安

当社の取り組み

### • 安心なデータ活用を世の中に広めていく

- Cookieに依存しない広告配信技術の開発・提供
- プライバシー保護を重視したコンテキストマッチの要素抽出
- データプライバシーに関する啓蒙活動

## 当社の取り組みの詳細：Priv Tech社の設立

2020年にプライバシーテック領域における事業を展開するべく、株式会社ベクトル社との合併会社として「Priv Tech（プライブテック）株式会社」を設立。



### 企業基本情報

- 会社名 : Priv Tech株式会社
- 住所 : 東京都港区赤坂 4-15-1 赤坂ガーデンシティ 17F
- 設立 : 2020年3月2日
- 代表取締役 : 中道 大輔
- 事業内容 : プライバシーテック分野におけるサービスの提供
- URL : <https://privtech.co.jp>

#### Service 1



同意管理プラットフォーム  
(CMP)

#### Service 2

プライバシー  
コンサルティング

プライバシー規制対策  
コンサルティング

#### Service 3

ポストクッキー  
コンサルティング

3rd Party Cookie規制対策  
コンサルティング